

第95回：江沢民氏、公の場に

辛亥革命100周年記念日の翌10月11日、中国の友人からこんな中国版アネクドットが届いた。決して筆者の作品ではないので誤解なきよう…奉願上候。

1959年10月、ソ連のフルシチョフ第一書記(兼首相)が中国を訪問した。嘗ては友好関係にあった中ソ両国だが、1953年にスターリンが死去し、後を継いだフルシチョフが1956年にスターリン批判を行ってから、両国関係は悪化の一途を辿ることになる。独裁者は独裁者を嫌うようで毛沢東とフルシチョフは個人的にも反りが合わなかった。このとき毛主席は腹の突き出たフルシチョフを中南海の自宅に招き、渋る同氏に無理やり水泳パンツを穿かせてプールサイドに誘ったというから毛沢東も相当の意地悪ではある。

首脳会談でも両者はがっぷり四つに組んだ。毛沢東曰く「わが国の漢方医学は、ソ連の医学水準を遥かに凌駕しておる。最近北京大学の医者は死者を甦らせる実験に成功した。もしもアンタが死にそうになったら、何時でも声をかけてくれ」。フルシチョフも言い返す。「誰がそんな与太話を信じる！わがソビエト連邦にそんなインチキ医者はおらん。そのかわり、わが国は長寿大国を目指してスポーツ振興に取り組んでおる。いまソ連最速の陸上選手は100メートルを8秒台で走れる。こんな選手が中国にいるか！」

まるで子供のケンカである。二人の自慢話はエスカレートして、互いに後に引けなくなった。最後は証拠を見せ合おうということで、医者と短距離ランナーの交換派遣を約束してフルシチョフは帰国した。さて頭を抱えたのは当のフルシチョフ。当時ソ連には100メートル競走で10秒を切る選手すらいなかったのである。思いあぐねたフルシチョフは腹心のミコヤン副首相に相談した。すると彼は破顔一笑、こう進言した。

ミコヤン：「フルシチョフ同志、心配無用だ。先ず、その中国人医師をモスクワに招待しなさい。そして彼を赤の広場に連れて行き、スターリンの遺体を使って実験させることにしようではないか」

フルシチョフ：「それで、どうする？」

ミコヤン：「もしスターリンが生き返らなければ、毛沢東との賭けは君の勝ちだ。万一彼が現代に甦れば話はもっと簡単だ。君が100メートルを8秒フラットで逃走するランナーになるだろう、この私が断言する」

もともとは仏ドゴール大統領と、ソ連のフルシチョフ第一書記を主人公とする政治小話だったようであるが、コピー大国の中国人は中国バージョンに改竄した。仕方ないので筆者もジョークを打ち返した。

共産党大会でスターリン批判を行ったフルシチョフは、レーニン廟に安置してあったスターリンの遺体をどこか遠くの外国に埋めてしまえと命令した。ところが「血の粛清」で悪名高い独裁者を受け入れてくれる国はどこにもない。弱り切ったフルシチョフに対し、イスラエル政府よりエルサレムの墓地に受け入れようとの申し出があった。ところがフルシチョフはこれを即座に断った。その理由を聞かれたフルシチョフ曰く、「誰がイスラエルの陰謀に騙されるか！ あそこは復活のあった地じゃないか！」

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

このメールを打ち返したあと、友人に「どうしてこんな小話をメールしたの？」と訊くと、「今年の7月、日本の某新聞社が殺してしまった江沢民が甦ったからだよ」という返事だった。

中国の江沢民・前共産党総書記(前・国家主席)が10月9日、北京の人民大会堂で開催された辛亥革命100周年記念大会に出席し、その健在が確認された。今年85歳の江沢民氏には以前から重病説が噂されており、7月1日の共産党創設90年記念大会に欠席したことから、一時香港や日本などで死亡説が流れていたのである。テレビ画像を仔細に見ると、看護師の力を借りながら歩く姿に人生の黄昏を感じるものの、胡錦濤主席の演説中は原稿を読み、演説が終われば立ち上がって胡主席と握手する元気が残っており、どうやら江沢民は一定の政治力を伴って再登場してきたと見るべきであろう。

江沢民の健康が唐突に明らかとなり、まず注目すべきは鉄道行政であろう。今年の7月、浙江省の温州で発生した高速鉄道事故で、国内外の批判が鉄道部の隠蔽体質と排他行政に集中し、鉄道部の解体・再編を骨子とする改革が始まるかと期待していた矢先に鉄道行政の大ボスが復活した影響は大きい。保守派による巻き返しが始まる可能性がある。中国の共産党大会で必ず斉唱されるインターナショナル「国際歌」のクライマックス(日本版の「いざ戦わん〜いざ、奮いたて〜いざ」)は「這是最最後の闘争、團結起来到明天」である。来秋の党大会で瞰制高地を制覇すべく、いま中国では最後の闘争が展開中である。

この闘争を三国志に譬えると共青团は「魏」、上海閥は「呉」、太子党は「蜀」である。強い「魏」に対し、「呉」「蜀」連合も似ている。「蜀」太子党は呂布のような一匹狼の集団である。吠える豺もいれば、寝たふりの狼もいる。一方、「呉」の上海閥は老将自ら出陣である。個人的には好きではないが江沢民の薄茶色の疎髪を見ていると、白髪を黒く染めて最後の戦いに臨んだ斎藤実盛の故事を思い出す。

これに対し、北京を本拠にする「魏」の共青团派には余裕がある。本年7月、中国政府は「廈門事件」と呼ばれる史上最大の汚職事件の主犯でカナダに高跳びしていた頼昌星の本国送還に成功し、事件の黒幕のあぶり出しをちらつかせている。この事件の脱税額は500億元(1元=12円)とも1000億元ともいわれており、「脱税」の範疇を超える大疑獄である。既に公安部次官、廈門市副市長、中国工商銀行廈門支店長等に死刑判決が出されたが、司直の追及はここまでであった。主犯が逃亡し、証拠不十分だったからである。「自分が帰国したら多くの政府高官が眠れなくなるだろう」と頼昌星は語っている。彼の奪還が「呉」と「蜀」に向けた警告であることは明らかである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成23年10月12日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。